

戦地と内地の思い出のこと

匿名希望（祖父母から聞いた話）

- ・祖父より昭和 58～平成 3 年頃までに聞いた内容

当時、通信兵（？）の兵役で満洲にいた。冬の寒さは濡れタオルを振ると 1 本の棒になったり、外で放尿するとたちまち凍っていくような寒さだった。

- ・夫の祖父より平成 21 年頃に聞いた内容

シベリアに抑留されていた当時、茶色のさびた大きなトラックに木を積んで運ぶ作業を手伝っていた。黒い硬いパンを食べていた。

- ・祖母より昭和 58～平成 5 年頃までに聞いた内容

神戸市西区の自宅から西の空（夜）を見ると花火のようにきれいに燃えるのが見えた。高砂（？）の空襲の焼夷弾だったと後で知った。